

MExxの成果と課題

事業部長 別府 佳代子

Executive Summary

Key Takeaways



MExx構想の定義と目的

各国に産官学医の実装ハブを構築し、日本の医療パッケージ(機器+人材+運用)を現地定着させる仕組み。医療水準向上と産業育成を同時実現。



2019年からの変遷と拡大

2019年のME Taiwan設立を起点に、ベトナム・インド・タイへ拡張。ERIA連携によるMExx始動(2021)を経て、MOU締結・拠点開設・フォーラム開催で面的な展開へ移行。



FY2025成果: 定量実績と相乗効果

ベトナムで約8.1億円の受注支援を達成。「アウトバウンド(輸出)」と「インバウンド(受入)」の一体的運用により、現地ニーズの吸い上げと日本医療の信頼性向上を実現。



現場課題と解決策: 人材交流・育成の重要性

「制度/調達/金融」等の4課題に対し、特に「人材交流・育成」を強化。現地医師の育成を通じて日本医療のソフトパワーを高め、機器実装のスピードを加速させる。

MExxとは何か(定義)

Definition

各国にMEJ型の官民学医ハブを設け、
機器、人材、運用の医療パッケージを実装する構想



🎯 プラットフォームの構築

現地の制度・調達・金融・人材育成を束ね、単なる輸出ではなく「定着」させる仕組みを作る。

📈 産業育成と医療水準向上

日本の医療機器・サービスを現地に定着させると同時に、相手国の医療産業のエコシステムを育成。

MExxの変遷

2019

ME Taiwan設立

MExx構想の先行事例として台湾にハブ組織を設置。地域連携のモデルケースとなる。

2022

ベトナム連携強化

ハノイ医科大学病院とMOUを締結。具体的な医療機器導入プロジェクトの足掛かりに。

2024

ME Thailand始動

バンコクにて第1回ME Japan-ME Thailand Forumを開催。タイでの活動が本格化。

2021

MExx本格始動

ERIA(東アジア・アセアン経済研究センター)が調整事務局を設置し、活動が本格化。

2023

フォーラム展開

MEV-MEJフォーラムを開催(NCDs、高齢化、医療DX等のテーマで議論を深化)。

2025

拠点・協業拡大

108病院(日越医療センター)、CII(インド)、BDMS(タイ)と相次ぎMOU締結。



Key Trend: 点(個別案件)から面(プラットフォーム・拠点)への展開が加速し、2025年に成果が具体化

FY2025の成果 ①関係構築・案件化



VIETNAM
ベトナム

DEAL AMOUNT

8.1 億円 (受注支援)

- ✓ **Lac Viet病院等**
入札支援を通じて、MRI、CT、超音波、内視鏡等の日本製品導入を決定。
- ✓ **108軍事病院**
MOU締結により、院内に「日越医療センター」を設立し、継続的な案件形成基盤を確立。

Project Agreement (MRI/Mammo)	1.4 億円
Hanoi Medical Univ. / Lac Viet (CT/US/Endo)	6.7 億円



INDIA
インド

ENGAGEMENT

NDA 2 件 (秘密保持契約)

- ✓ **大規模ビジネスマッチング**
日本(6月)・インド(11月)で開催し、延べ450名超が参加。具体的商談が加速。
- ✓ **パートナーシップ強化**
CII(インド工業連盟)とMOU締結。現地産業界との強固なネットワークを構築。

セミナー・マッチング参加	450名超
MOU提案中企業	4件



THAILAND
タイ

ALLIANCE

Proton Oncology (陽子線)

- ✓ **Japan-BDMS Alliance**
BDMSがんセンターと陽子線治療分野での戦略的提携を構築。先端医療の輸出モデルへ。
- ✓ **ME Thailand始動**
第1回フォーラムを開催し、再生医療・ウェルネス分野での市場調査と協業モデル特定を推進。

事業規模	150億
MOU提案中	4件

FY2025の成果 ②拠点整備・発信



VIETNAM

ベトナム

INSTITUTION

日越医療センター 設立 (108軍事病院内)

- ✓ 108軍事病院とのMOU締結
ベトナム最大級の病院内に常設拠点を設立。現地医療ニーズを直接吸い上げる体制を構築
- ✓ 継続的な案件形成基盤
単発のプロジェクトではなく、長期的な視点での医療機器導入や技術移転が可能に。

通年

JPMD

日系企業間対話を通じた医療協力の枠組み。連携。



INDIA

インド

PARTNERSHIP

CII MOU締結 (インド工業連盟)

- ✓ インド産業界トップとの連携
インド経済界の中核であるCIIとの提携により、政策提言やビジネスマッチングを加速
- ✓ 広域展開への布石
NATHEALTH、ウッタル・プラデーシュ州 (UP州)、YEIDAとの連携も最終調整段階

2025.11

第2回 セミナー

インド現地開催。450名超が参加し、具体的なNDA締結案件を創出。



THAILAND

タイ

FRAMEWORK

陽子線連携 制度・人材・運用の設計

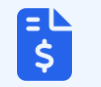
- ✓ BDMSがんセンターMOU
民間最大手BDMSとの提携に基づき、陽子線治療の導入に向けた包括的枠組みを構築。
- ✓ 制度と人材のパッケージ化
単なる機器輸出に留まらず、運用ノウハウや専門人材育成を含めた制度設計を推進中。

2025.3

ISAN Wellness Summit

ISAN Wellness Summit内で開催。地域医療・ウェルネス連携を協議

現場からの課題



SYSTEM / FINANCE

制度・調達・金融

- **入札仕様書への関与** 会計検査や政治的リスク回避を優先。調達の初期段階(要件定義)への関与を控えるため、日本の強み(保守・教育)が評価されにくい。
- **パッケージ化の課題** 規制・金融・産業振興が連動しておらず、欧米のような産業担当省庁が構想段階から連携。資金供給から運営体制までパッケージ化した丸ごと輸出をが困難。ex) Bpifranceが輸出信用(保証・財務ローン等)
- **ODA後の制度的空白** 専門医教育や高度技能訓練の枠組みが限定的。技術は高いが、国際的な人的ネットワークや制度への影響力(ソフトパワー)が弱い。



HR / EDUCATION

人材・教育

- **専門医育成の枠組み不足** 機器輸出とセットであるべき「高度技能訓練」や「学位取得支援」が限定的。
- **ソフトパワー構築の遅れ** 現地の医療リーダー層に日本流の教育を提供できておらず、長期的な影響力が弱い。



OPERATION / BUSINESS

運営・事業化

- **縦割りの弊害** 省庁や機関ごとの連携が不十分で、事業設計体制(アーキテクチャ)が未整備。
- **リスク分担設計の不備** 市場形成期特有のリスクを吸収する公的金融支援(JBIC/NEXI等)との連動が弱い。



NETWORK / DIPLOMACY

ネットワーク・外交

- **現地キーパーソンとの関与不足** 恒常的な対話チャンネルが不足しており、トップダウンでの意思決定スピードが鈍化。
- **実装スピードの課題** 人的ネットワークを十分に活用しきれず、現地ニーズへの即応性が欧米勢に劣後。

MExx拠点形成と維持には多大なリソースが必要。そのため、フレキシブルなパートナー関係の構築と、事業化・伴走・事業形成にシフトする必要がある。

成果と人材育成の重要性



医療人材交流・育成の重要性

長期的なソフトパワーの構築



研修受入・プログラム提供

日本の医療機関での実地研修や、現地医師・技術者向けの育成プログラムを提供し、日本流医療の定着を図る。



学位取得・キャリア支援

単なる技術習得に留まらず、学位取得やキャリア形成を支援することで、親日派リーダー層(キーパーソン)を育成。



実装加速とネットワーク

育成された人材が現地での機器操作・保守の担い手となり、導入障壁を低減。



アウトバウンド・インバウンドの一体的運用

アウトとインの連動による相乗効果

アウトバウンド

日本医療機器・サービスの輸出・現地拠点でのニーズ収集



インバウンド

外国人患者・医師の受入
日本医療の実体験提供

具体的な成果

ベトナム医師の日本体験が導入を後押し
来日研修で日本の機器・技術を体験した医師が、帰国後に「アンバサダー」となり、日本製MRI等の導入選定を強力に推進。信頼醸成が意思決定を加速。